

# 社会資本総合整備計画

仙台市緑地保全等事業

事後評価資料

仙台市

平成30年3月

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	仙台市緑地保全等事業		
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度 (5年間)	交付対象	仙台市
計画の目標			

目指すべき「百年の杜」

- (1) 安全・安心のまちづくり
  - みどりによる安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。
- (2) 自然環境の保全・再生
  - みどりの保全・再生・創出により生物多様性や低炭素都市づくりを進める。
  - 担保性のあるみどりを増やす。
- (3) 生活環境の向上
  - 市民ニーズに対応した都市公園などの整備と運営管理を行い、利用者を増やす。
  - 身近なみどりを創出する。
- (4) 仙台らしさを表すみどり
  - 都心部の緑化や都市公園の整備により、みどり豊かで風格のある都市づくりを進める。
  - 歴史的・文化的資源と調和するみどりにより、個性があり、魅力的なまちづくりを進める。
- (5) 市民協働の推進
  - 市民・市民活動団体・事業者・行政が目標を共有し、協働によるみどりのまちづくりを進める。

みどりの骨格充実プロジェクト  
 ◎市街化区域及びその周辺部における樹林地の保全  
 ※概要：担保性に欠ける樹林地は樹林地カルテを作成。優先的に保全する必要がある樹林地については都市緑地法の制度等を活用して保全を図る。  
 ●取組：都市緑地法に基づく特別緑地保全地区制度の活用  
 杜の都の環境をつくる条例に基づく保存緑地の保全

成果目標(最終H32年度)  
 ◎二酸化炭素固定量 42,500t/年 (H22年度30,289t/年)  
 ◎身近な生き物の認識度 現在より向上させる (H22年度 環境都市推進調査を基準)

計画の成果目標 (定量的指標)

- 目標1 ・市全域のみどりの総量の維持・向上を目指す (H21市全域の緑被率78.8%)
- 目標2 ・市街地のみどりの総量の維持・向上を目指します。(H21年度 市街地の緑被率 29.8%)  
 ・市街化区域において担保性のある緑地を250ha増やす。(H23末 市街化区域内における担保性のある緑地約2,200ha)  
 ※本社会資本総合整備計画では、特に市街化区域及び市街化区域に隣接し、担保性が十分ではなく、開発の圧力や維持管理困難等により喪失の恐れがあり保全が必要な(保存)緑地46箇所(H23末)の内、8箇所(H29末)の保全等を実施する。
- 目標3 ・目標1、2を踏まえて、本事業計画では、担保性のある緑地の確保のため、喪失の恐れのある民有の緑地の買取を進めて、特別緑地保全地区への指定を推進する。より具体的な数値目標としては、  
 ◎保存緑地内の民有地面積248.20ha(H23末)→242.20ha(H29末)  
 ◎特別緑地保全地区指定箇所数1箇所(蕃山—H23末)→4箇所(蕃山外3箇所—H29末)  
 ◎特別緑地保全地区指定面積80.6ha(蕃山—H23末)→85.6ha(蕃山外3箇所—H29末)

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	(H23末)	(H27末)	(H29末)	
保全及び整備の目標＝各年に特別緑地保全地区指定を行う緑地の累計箇所数	1 箇所	2 箇所	4 箇所	
保全及び整備の目標＝各年に特別緑地保全地区指定を行う緑地の累計面積	80.6 ha	81.6 ha	85.6 ha	

全体事業費(計画)	合計 (A+B+C)	1,044 百万円	A	1,037 百万円	B	0 百万円	C	7 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.7%
-----------	------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	-------	------------------------	------

事後評価

1. 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本市独自に実施	平成29年度
	公表の方法
	ホームページによる公表

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
1-A-1	公園	一般	仙台市	直接	仙台市	特別緑地保全地区(指定予定地)等整備事業 (放山I外9箇所)	用地買収等 8.5ha	仙台市						882	
1-A-2	公園	一般	仙台市	直接	仙台市	特別緑地保全地区(指定予定地)等整備事業 (燕沢三丁目外)	散策路整備工事等	仙台市						38	
合計													920		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
1-C-1	計画・調査	一般	仙台市	直接	仙台市	特別緑地保全地区(指定予定地)等整備事業 (木皿山)	指定区域測量	仙台市						5	
1-C-2	施設整備	一般	仙台市	直接	仙台市	特別緑地保全地区(指定予定地)等整備事業 (燕沢三丁目)	基本設計	仙台市						1	
合計													6		

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
1-C-1	(A-1)にあわせ、調査、測量等を行うことにより特別緑地保全地区指定の方策を整える。													
1-C-2	(A-2)にあわせ、危険箇所等の整備のための基本設計を行うことにより、今後の特別緑地保全地区の保全に資する。													

A	920 百万円	B	0 百万円	C	6 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	0.7%
---	------------	---	----------	---	----------	-------------------------------	------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	都市緑地法に基づく特別緑地保全地区の指定および整備を行うことで、担保性のあるみどりを増やすことができた。
--------------------------------	--

II 定量的指標の達成状況				
特別緑地保全地区の指定箇所数	最終目標値	4 箇所	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成した。
	最終実績値	4 箇所		
特別緑地保全地区の指定面積	最終目標値	85.6 ha		
	最終実績値	97.2 ha		

3. 特記事項（今後の方針等）

本計画に基づく事業の進捗により、当初目標としていた特別緑地保全地区の指定を行うことができた。  
引き続き、生物多様性や低炭素都市づくりを進めるため、次期（H30～H34）社会資本総合整備計画においても、効率的かつ効果的な都市緑地等の保全事業を推進する。